



404-24
(科学講演)

2024年10月

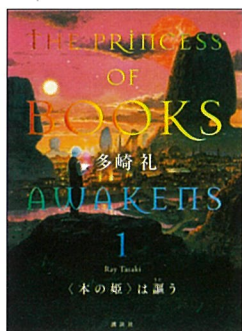
『わたし、サイエンスエンターテイナーになる！』

五十嵐 美樹 作

(WAVE出版)

「サイエンスエンターテイナー」という職業を知っていますか。耳慣れない仕事かもしれませんが、実は著者の五十嵐さんが作った職業なんです。五十嵐さんは、幼い頃に出会ったダンスと、中学校で興味を持った科学を掛け合わせたサイエンスショーを生み出し、ショッピングモールやお祭りでショーを行っています。

興味があることを仕事にするにはどうしたらいいのか、理系分野にはどのような進路があるのか、五十嵐さんの経歴を通して将来を考えるヒントになる本です。



Fータサ
(日本の小説)

2024年1月

『〈本の姫〉は謳う 1』

多崎 礼 作

(講談社)

本の中に宿る女性〈本の姫〉と、本の修繕^{なりわい}を生業にする少年アンガスが、世界を滅ぼす邪悪な存在「文字」を回収するために旅をする物語です。アンガスは、〈本の姫〉の力を借りなければ戦えませんが、力に頼らず、争わずに解決しようとします。次第に、その強さと優しさを秘めた姿に感化され、アンガスを助ける仲間が増えていきます。

本を広げると記録された物語が映像のように浮かび上がるという設定や、魅力的な登場人物たちが物語に彩りを加え、どっぷりとその世界感に浸ることができます。王道ファンタジーが好きな人におすすめです。

★「読みたいな」と思った本の予約・問い合わせは、下の図書館までお願いします。

中央図書館	☎072-627-4129	畑田町1番51号
おにクル ぶつくばーく	☎072-622-2476	駅前三丁目9番45号 おにクル内
水尾図書館	☎072-637-4416	水尾三丁目3番18号
庄栄図書館	☎072-620-1171	庄二丁目26番12号
穂積図書館	☎072-620-1056	松ヶ本町8番30号 イオンモール茨木内

編集・発行：茨木市立図書館

発行日：令和7年(2025年)10月

*本の表紙は出版社の許諾を得て掲載しています。



この印刷物は、10,000部作成し
1部あたりの単価は10.98円です。

令和7年(2025年) 秋・冬号



茨木市は持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。



おもしろい本 みつけた!

《中学生・高校生》



1年の間に図書館に入った本を中心に、
はばひろくおもしろい本を紹介します。

★ホームページにもものっています。
気になる本をみつけたら、
さっそくさがしてみよう!



茨木市立図書館
おすすめ本のページ



388-24
(ことわざ)

2024年1月

『世界のねこことわざ』

noritamami 作

(ハーバーコリンズ・ジャパン)

「猫を嫌う人には気をつけろ」(アイルランド)、「寝ている猫は起こすな」(フランス)など、世界の国々の猫にまつわることわざを集めた本です。見開き2ページでひとつのことわざが紹介され、その意味と解説が書かれています。

各国での猫の言い方や、「EU諸国では猫もペットパスポートの発行が可能」などの豆知識も紹介されていて、世界の文化も知ることができます。また、右ページには、ことわざにちなんだ猫の可愛い写真も載っているので、読んでも見ても楽しむことができる本です。



茨木市立図書館



462-23
(生物誌)

2023年9月

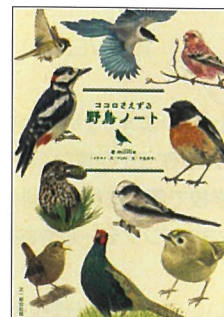
『無人島、研究と冒険、半分半分。』

川上 和人 作

(東京書籍)

鳥類学者の川上さんは、原生の生態系が残る南硫黄島へ調査研究チームの一員として向かうことになります。人類が今まで2度しか足を踏み入れたことがないその島では、土砂崩れや落石は日常茶飯事です。急斜面の崖、大量のハエなど、さまざまな環境との戦いが川上さんを待ち受けています。

この本はそんなサバイバル生活を綴った無人島冒険記かつ、鳥類について記録した調査研究の報告書でもあります。研究者の印象が180度変わること間違いなしの本なので、ぜひ手に取ってみてください。



488-24
(鳥類)

2024年4月

『ココロさえずる野鳥ノート』

mililie 作

(文一総合出版)

バードウォッチが大好きなイラストレーターの妻と、バードウォッチを勧められてから鳥が大好きになった夫が、二人で作った鳥の観察ノートです。全部で100種の野鳥が登場し、ページをめくると、まるで作者たちと一緒に鳥を知っていくような体験ができます。

野鳥たちの鳴き声を楽しめる二次元コードもついていて、スマートフォンを持っていれば、その場で鳥の声を聞くこともできます。野鳥への愛が詰まったこの本で、バードウォッチの楽しさを感じてみませんか。



K660
(水産業)

2024年8月

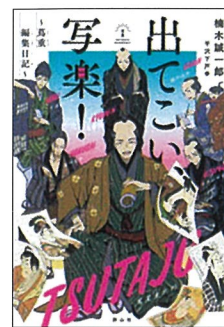
『22世紀からきたでっかいタイ ゲノム編集とこれからの食べ物の話』

木下 政人 作
入澤 宣幸 作・構成
さはら そのこ、ラムダプロダクション 絵

(Gakken)

ゲノム編集と言われると、研究者が行っている難しいもの、普段の私たちの生活とはあまり縁がないものと思うかもしれませんが、実は身近なところで使われています。

この本では、ゲノム編集によって食べられる部分が最大1.6倍になる「22世紀タイ」について、会話形式で書かれているので、会話に参加している気持ちで読むと、いつの間にかゲノム編集についての理解が深まっています。読み終えると、ゲノム編集って知ってる？と思わず友達や家族に話したくなる本です。



ニークス
(日本の小説)

2024年9月

『出でこい、写楽！ ～薦重編集日記～』

楠木 誠一郎 作

(静山社)

平沢 下戸 絵

江戸時代、人々の娯楽は大首絵(今でいうブロマイド)や本でした。それらを販売している耕書堂の主人、薦屋重三郎は、人気絵師の写楽が部屋にひきこもったので、困り果ててしまいます。写楽をどうにか部屋から出そうと、コネクションをフル活用し、人気絵師たちの力を借りて奮闘する話です。

重三郎の葛藤や登場人物たちのやりとりが語り口調で書かれていて、楽しく読むことができます。登場人物は、有名な歴史上の人物ばかりで、人物や言葉の解説も掲載されています。



セーキム
(外国の小説)

2024年7月

『ふしぎな鏡をさがせ』

キム・チェリン 作
イ・ソヨン 絵
カン・パンファ 訳

(小学館)

ジンは、おじいちゃんの「ふしぎな鏡」を探すため、書斎で見つけた暗号を解いているうちに、鏡の世界に迷い込みます。得体のしれない「怪物」から逃げながら、鏡の世界の住人と協力して、鏡にまつわる物語や鏡文字、光の反射などをヒントにおじいちゃんの鏡を探します。

実験をしたり、鏡にまつわる知識を使ったりとさまざまな切り口で謎を解いていくのが、まるで推理小説のようです。淡い色合いの挿絵も魅力的です。



F-サカ
(日本の小説)

2024年3月

『うまいダッツ』

坂木 司 作

(文藝春秋)

コウ、アラタ、セラ、タキタの4人は、高校の部活「喫茶部」で「おやつ部」というグループをつくり、ゆるく活動しています。「駄菓子研究」と称してお菓子を食いつつ、学校で流れている噂を調査したり、おばあちゃんが無くしたブローチを探したりと、ちょっとした謎をみんなで協力して解決していきます。

登場人物たちの個性やこだわりによるすれ違いを、互いを認め合うことで乗り越えていく様子が心を動かされます。実在するお菓子にちなんだ5つの話が収録された短編集です。